キャラクター名
フライン

プレイヤー名

メインクラス	クルセイダー	**Lv.1:**		**レベル**	35
サポートクラス	シャーマン	**Lv.1:**	モンク	**性別**	男
称号クラス				**年齢**	28
種族	フィルボル			**境遇**	出世
出自（効果）	神官			**目標**	反発

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	24	12	39	7	48	43	9
ボーナス	8	4	13	2	16	14	3
クラス修正	0	1	2	1	3	1	0
他修正		1	1		3	5	
能力値	8	6	16	3	22	20	3

HP	295
MP	326
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S3鋏刃手(迅速・敏捷・感知クリスタル入り)		1	17				1	
左手	双								
頭部	S1風音の帽子(精神クリスタル入り)				2			2	
胴部	S1フィルボトラベルジャケット(器用クリスタル入り)				2	4		2	
補助	アンセスターネックレス				-1	1			
装身具	豊穣の花冠								
能力値			6	0	16	0	20	38	13
スキル	サクセション、ニンブル、フェイス:ダグデモア、サッカー			1				5	3
その他	リムブースト・リフレクト							2	
総計(右)			7	18	19	5	20	50	16 m
総計(左)			6	1					
総計(両)			7	18					
ダイス数			3 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	22			22	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	22			22	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定	3			3	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
リムブースト・リフレクス	

現在重量：	1		
最大重量：	24	所持金：	84400
		預金・借金：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ニンブル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 作成時に行動値+3								
アフェクション	1	-	DR直後	20m	単体	自動成功	アコライト、1/Sr	
効果： 対象が受ける予定のダメージを0に								
ヒール	1							
効果：								
マインドクラッシュ	1							
効果：								
アームズマスタリー:格闘	1							
効果：								
クイックヒール	1							
効果：								
トレーニング:筋力	1							
効果：								
トレーニング:器用	1							
効果：								
トレーニング:敏捷	1							
効果：								
トレーニング:感知	1							
効果：								
トレーニング:精神	1							
効果：								
トレーニング:幸運	1							
効果：								
マシンリム	1							
効果：								
フェイス:ダグデモア	1							
効果：								
アース・ノウリッジ	1							
効果：								

フラインの背景:
フラインは神官の子として生まれ神官として育った。そして一部の神官がそうするように冒険者を志した。
しかも、彼は単に仲間を支える神官ではなく、自ら陣頭に立つことのできる聖戦士の目指そうとした。
修練としてモンクに入門した彼は、覚えの良さで師を驚愕させたが、徐々に「自分の拳法」を確立することを目指すようになった。
そのためには文句の修行だけでは足りないと考えた彼は、次いでサモナーから使い魔との契約と彼らと連携して攻撃する術を学んだ。
それは彼の拳法に新たな側面を与えてくれたが、それではまだ彼にとって十分ではなかった。
転機となったのは、たまたま知り合ったアーシアンが、彼の元居た世界である「地球」の「インターネット」（ユグドラシルネットワークのようなものだろう）上の創作物である「SCP」を彼に教えたことだった。
彼はその中でも「複数の人がボールを形作り、勢いを増しながら跳ねる」という怪異に興味を持った。
その様な現象を実現できれば拳法として強力であろうと考えたことに加え、彼はその怪異の説明に用いられる「反発の精神」という言葉が好きだった。
思えば、比較的平穏な神官としての道もあったにもかかわらず冒険者となり、比較的安全な支援役としての道もあったにもかかわらず自ら陣頭に立つことを望み、多くの神官戦士が手にする武器であるメイスではなく己の拳法を恃み、拳法家として有望視されていたにもかかわらず「自分の拳法」を見出すために職を転々とし、彼の人生は常に多数のものが選ばないであろう方を選び取ってきた。
これを「反発の精神」と呼ぶのなら、自分にぴったりの言葉だと思ったのである。
彼はさっそくこの現象を再現し、拳法に取り入れることにした。元となった創作物では「複数の人」がボールを形作るということだったが、彼には使い魔がいたため、彼は使い魔と共にボールを形作ことにした。幸いにして彼はフィルボルであったため、使い魔と足や手を取り合っても、自分が大きすぎることはなく、ボールを形作ることが出来た。さらにバウンドはやはり自分や使い魔にもダメージが入るが、彼は自らの祈りでそれを癒すことが出来る神官である。この試みは全てが噛み合っていた。
そして、彼はついに「勢いを増しながら跳ねるボール」となる方法を見出し、さらにその状態から様々な格闘攻撃を繰り出せるようになった。ここに、彼だけの拳法、「スーパーボール拳」が誕生したのである。
その後、オーディールを突破し、神換者となった彼は、自らの運命を「反発」だと悟った。
今や彼は、スーパーボール拳により自らの立つ大地にすら反発し、鳥より高く跳ね上がることが出来る。彼の生き様もまた反発の連続だった。しかし、彼が真に

キャラクター名

フライン

プレイヤー名

所持品			